

## 活用効果評価結果

公開版

平成26年度

中部地方整備局／新技術活用評価会議

NETIS情報	開発目標	耐久性の向上、品質の向上																							
	新技術登録番号	CB-100033-A	区分	工法	有用な技術の位置づけ	なし																			
	分類	コンクリート工－コンクリート工－養生																							
	新技術名	ベストフロアーシステムCN工法																							
	比較する従来技術(従来工法)	金コテ仕上																							
新技術の概要及び特徴	本技術は、打設コンクリート硬化前に改良型真空脱水工法を施す技術であり、従来は左官による金コテ仕上げで対応していました。余剰水を効率良く除去する事で、床コンクリート表層部の各諸性能が向上し、後の保全工事も大きく低減できる技術です。																								
活用効果評価	所見	<p>【優れていた所】 ・コンクリート表層部が緻密化されることで、表面強度が向上するなど、品質・出来形の向上が図られている。</p> <p>【劣っていた所】 ・該当なし。</p>																							
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	活用効果調査及び活用効果評価を継続する技術としての選定要件にあてはまらないため継続調査は実施しない。 よって、情報種別記号「-VE」とする。																							
	留意事項	・該当なし。																							
	活用効果調査表における改良点及び要望	・該当なし。																							
参考 活用効果調査結果	対象工事	1	防波堤築造工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
		2	岸壁築造工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
		3	高架橋上部工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約後提案)																			
		4	橋梁上部工製作架設工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
		5	道路改良工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
		6	防波堤築造工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約後提案)																			
		7	箇渠工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
		8	高架橋上部工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
		9	砂防堰堤補強工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
		10	防波堤ケージン製作工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
		11	跨道橋PFC上部工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
		12	橋梁上部工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
		13	跨道橋上部工事	(従来技術：金コテ仕上)	(新技術：金コテ仕上)	施工者希望型(契約前提案)																			
	14																								
	15																								
	16																								
	17																								
	18																								
	19																								
	20																								
施工時評価		ケース番号 および年度 項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	項目の平均(点) (従来工法)(点)	従来技術 (従来工法) (点)	
			H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H25	H25	H25	H25	H25								D	C	
			経済性	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D									
			工程	C	C	B	C	C	C	B	B	B	C	C	C	C								C	C
			品質・出来形	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B								B	C
			安全性	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C								C	C
			施工性	C	D	C	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C								C	C
			環境	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C								C	C
			その他																						
			総合評価点	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C								C	
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいいか	今後も是非活用したい		活用を検討したい		場合によっては活用することもある		技術の改良を強く望む		各項目における判定																
	-		-		-		-		<table border="1"> <tr><td>A</td><td>従来技術より極めて優れる</td></tr> <tr><td>B</td><td>従来技術より優れる</td></tr> <tr><td>C</td><td>従来技術と同等</td></tr> <tr><td>D</td><td>従来技術より劣る</td></tr> </table>										A	従来技術より極めて優れる	B	従来技術より優れる	C	従来技術と同等	D
A	従来技術より極めて優れる																								
B	従来技術より優れる																								
C	従来技術と同等																								
D	従来技術より劣る																								
追跡調査の必要性	不要																								
追跡調査																									

